

安全データシート

1. 製品及び会社情報

[製品の名称] 製品の名称 ミキシングチップ (RS)

| | | |
|--------|--------|----------------------------------|
| [会社情報] | 会社名 | ペントロンジャパン株式会社 |
| | 住所 | 〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F |
| | 電話番号 | 03 - 5746 - 0316 |
| | FAX 番号 | 03 - 5746 - 0320 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|-----------------|-------|
| GHS 分類 | 該当しない |
| 注意書きを含む GHS ラベル | 該当しない |
| 他の危険有害性 | なし |

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量：

| 成分名 | CAS No. | 化審法 No. | 安衛法 No. |
|---------|-----------|---------|------------------------|
| ポリプロピレン | 9003-07-0 | 6-402 | 適用法令により開示が必要とされる成分はない。 |
| その他 | 非公開 | - | - |

- ・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
- ・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。直ちに医師に連絡すること。 |
| 眼に入った場合 | 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 水で口の中をよく洗浄する。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。 |
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 消火剤 | 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。 |
| 消火を行う者の保護 | 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------|---|
| 人体に対する注意事項 | 粉じんの発生を避ける。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。適切な保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境に対する特別処置は必要ではない。 |
| 除去方法 | 掃いてシャベルですくいとる。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。 |
| 追加情報 | 切削作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置のあるところで行うこと。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-------|--|
| 取扱い注意 | 粉塵が発生する場所では、換気を適切に行うこと。粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。 |
| 保管注意 | 室温で保管し、直射日光を避けること。 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。 |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------|---|
| 設備対策 | 局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等 |
| 保護具 | 呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。 手の保護具 保護手袋 眼の保護具 保護眼鏡 |

9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|----------------|----|-------|
| 外観 | 形状 | 固体 |
| | 色 | 透明白濁 |
| | 臭い | データなし |
| 物理的状態の変化に関する情報 | | |
| 融点/融解範囲 | | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | | データなし |
| 引火点 | | データなし |
| 自然発火温度 | | データなし |
| 爆発範囲 | | データなし |
| 密度 | | データなし |
| 蒸気圧 | | データなし |
| 粘度 | | データなし |
| pH 値 | | データなし |
| 水への溶解性/混和性 | | データなし |
| 有機溶媒 | | データなし |
| 水 | | データなし |
| 固体の割合 | | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|----------|-----------|
| 安定性 | 通常条件では安定。 |
| 危険な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

| | |
|------|----------------------------------|
| 発がん性 | 発癌性あるいは発癌の可能性のある物質としてはリストされていない。 |
| 許容濃度 | 設定されていない。 |
| 摂取経路 | 吸入(ダストの形で)/経口摂取、皮膚や目。 |

12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

| | |
|------|-------|
| 分解性： | データなし |
| 蓄積性： | データなし |
| 魚毒性： | データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-------|--|
| 廃棄の方法 | 診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。 その他関係法令の定めるところに従う。 |
|-------|--|

14. 輸送上の注意

| | |
|---------|---|
| 国内規制 | |
| 陸上規制情報 | 消防法の規定に従う。 |
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | 航空法の規定に従う。 |
| 国際規則 | |
| 海上規制情報 | IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。 |
| 特別の安全対策 | 当該製品が転落し、又は収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 |

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

| | |
|---------|-----|
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |
| 毒劇物取締法 | 非該当 |
| PRTR 法 | 非該当 |
| 船舶安全法 | 非該当 |
| 航空法 | 非該当 |

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

改訂履歴

00 2024年3月20日 初版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
 化学大辞典 共同出版
 安衛法化学物質 化学工業日報社
 産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
 化学物質安全性データブック オーム社
 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
 化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
 Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
 GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
 JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」 HP
 職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP
 NITE 化学物質総合情報提供システム nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS 混合物分類判定システム 経済産業省